

# 合成纖維に關する本邦特許

吉岡 守雄 (抄録)

## 高分子體製造法 (昭和15年特、公4881 加藤興五郎)

本發明は二鹽基性有機酸ニシアナミド又はヂシアンデアミドより得らるべき二酸性グアニジン鹽基又はビグアニド鹽基ニ結合せしむることを特徴とする高分子體製造法に係る。二鹽基性有機酸ニデアミンニよりポリマーを製造することは既に公知なるも、該重合が比較的困難なるの故、デアミンを得るにも容易ならざる故に、シアナミド或はヂシアンデアミドより容易に、且つ安價に得られる二酸性グアニジン鹽基又はビグアニド鹽基ニ二鹽基性有機酸ニを反應せしめて新しきポリマーを製造し、之より合成纖維、フィルム等を製造するのが本發明の目的である。

## 熔融せる有機質の纖維形成用組成物より纖維を形成する方法 (昭和15年特、公5157 デュ、ボン社)

本發明は熔融せる有機質の纖維形成用組成物より組成せる均一形狀の固體桿の複數箇を、該桿よりも斷面寸度が小なる1箇又は1箇以上の間隔を置きたる孔を通し前記桿の内方突出部分のみを熔融する如く、高溫度を有する1箇又は1箇以上の帶域に壓入し、其の熔融されたる組成物を進み來る前記桿の壓力に依りて所要形狀の孔を通して壓出することより成る熔融せる有機質の纖維形成用組成物より纖維を形成する方法に係る。即ち合成纖維資料を棒狀に固化せしめて、その先端を加熱熔融せしめて紡絲する熔融紡絲方法である。本方法によることの利點がある。(1) 纖維形成用物質が高溫に曝される時間が短い、従つて纖維形成用物質の紡出中に高溫による分解變質がない。(2) 一つの桿を他の桿につけることにより紡出操作を停止せしめず連續的に出来る。(3) デニールの均一性を得。(4) ポンプ、その他の運動部分が除かれる。但し上記固體桿は無氣泡にて、均一なる密度、大きさ、形狀を有しなければならない。

## 異量アミド製造法 (昭和15年特、公6078 デュ、ボン社)

本發明はポリアミド生成反應劑を加熱反應せしむるに當り、少くも反應體をその重合溫度に達する前に流動體たらしめ得る量の水の存在に於いて惹起せしめ、次で反應體を水を留保しつつ、重合溫度に加熱して反應劑の大部分を反應せしめて異量體を形成せしめ、引き続き加熱して水を除去し、所望性質の異量體を製造する方法に係る。ポリアミド生成反應劑ニはアミノ酸、或はデアミンニ二鹽基酸の如きポリアミド生成劑の意味である。通常の條件に於いては異量アミドに對して、何等の溶劑作用をも呈することなき水が高溫、高壓の下にては是等ニ溶液を形成し、水の選流による攪拌を利用し反應を促進せしめ、機械的攪拌を不要ならしむ。本方法は異量アミドの大規模製造の場合に有利なり。